

【農地整備課所管 事後評価審議資料】

○県営中山間地域総合整備事業（白鳥大和地区）

- ・事後評価箇所表
- ・説明資料（パワーポイント）

平成24年度事後評価箇所表

担当課〔農地整備課〕

番号	1	事業名 (路線名等)	県営中山間地域総合整備事業 白鳥大和地区
実施箇所	郡上市白鳥町、大和町地内		全体事業費 (当初3,780) 2,601百万円
採択年度	15年度	完了年度	22年度
事業目的	<p>農業生産基盤においては、剣用水をはじめ農業・生活用水として重要な役割を持つものの経年変化により老朽化の著しい農業用排水路の整備や、狭小な農道を整備することで、農産物の生産強化や農業所得の向上を図る。</p> <p>また、生活環境基盤においては、狭小な集落道路を整備することで、農業関連施設や公共施設、交流施設などへの利便性を向上や、都市住民との交流を促進させ、地域の活性化を図る。</p>		
事業概要	<p>総事業費 2,601,334千円 受益面積 315.2ha 受益者数 959人</p> <p>主要工事計画 農業用排水7,366m(10路線)、農道整備3,418m(4路線)、農業集落道路3,914m(8路線) 営農飲雑用水施設160戸(1団地)、活性化施設290m²(1棟)、生態系保全施設773m(1路線)</p>		
概要図	別紙のとおり		

評価結果	
①住民参加・協働による効果	<p>【住民協働の取り組み状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15～16年度に施工した生態系保全水路について、平成19年度に小学生、地域住民、及び行政関係者約40人で生き物調査を行った。調査結果として、平成15年度の調査時と比較して生物の増加が確認された。
②事業効果	<ul style="list-style-type: none"> 用排水路の改修に伴い、水路の維持管理や水管理における労力が軽減できた。 農道整備・集落道路整備により、農業機械の搬入や農作物の運搬が容易になり、農作業の効率が良くなった。 営農飲雑用水施設の整備により、農業用水及び生活用水の安定供給が可能になった。 活性化施設は、住民の地域活動や交流の場として利用されており、計画利用者数966人に対して、平成23年度の利用者数は1,050人であった。

③環境面への配慮

【環境配慮項目】

生態系保全施設整備の対象水路では、プレハブ水路を自然石で整備することで、生態系に配慮した構造とした。

④事業を巡る社会情勢の変化

- ・郡上市においては、旧郡上郡 7 町村が平成16年3月1日に「郡上市」として新設合併した。
- ・今年度の「道の駅古今伝授の里やまと」における朝市での販売額は、事業着手の平成15年と比較して約3倍に増加する見込み。
- ・農業者の動向では、平成23年度末時点で認定農業者21人、4法人が68haを作付けしている。（着手時点 認定農業者13人、1法人で26ha）

⑤利用者・地域住民等への効果

【利用者、地域住民等の意見】

当事業の効果について、受益者及び地域住民を対象にアンケート調査を行った。

農業用排水路施設整備

幹線用水路の整備により、用水不足の解消・維持管理の軽減に効果があったとする回答が大半を占めたものの、支線水路の整備の遅れを指摘する回答も見受けられた。

農道・集落道路整備

利便性の向上が図られたとした回答が大半を占める結果となったが、2車線化を期待する回答も見受けられた。

営農飲雑用水施設

浄水場の改築工事により水利用が改善されたこともあって、農業用水及び生活用水とも安定した水利用が出来るようになったとする回答が大半を占めた。

活性化施設（蛍光館）

施設の整備に伴い、講習や会議などの場として活用しているとの回答が多く寄せられた。

また、ホテルを対象とした生態系保全施設の整備によって、学童の環境学習の場としても活用されている。

【今後の事業評価の必要性】

今後の事業評価は必要としない。

- ・農業用排水路等の基盤整備による営農条件や、集落道等の整備による生活環境の改善効果が認められる。
- ・活性化施設を核とした地域活動の増大や都市住民との交流に取り組んでいるなど、地域の活性化も図られている。

【改善措置の必要性】

特になし

【新規事業へ適用すべき留意点】

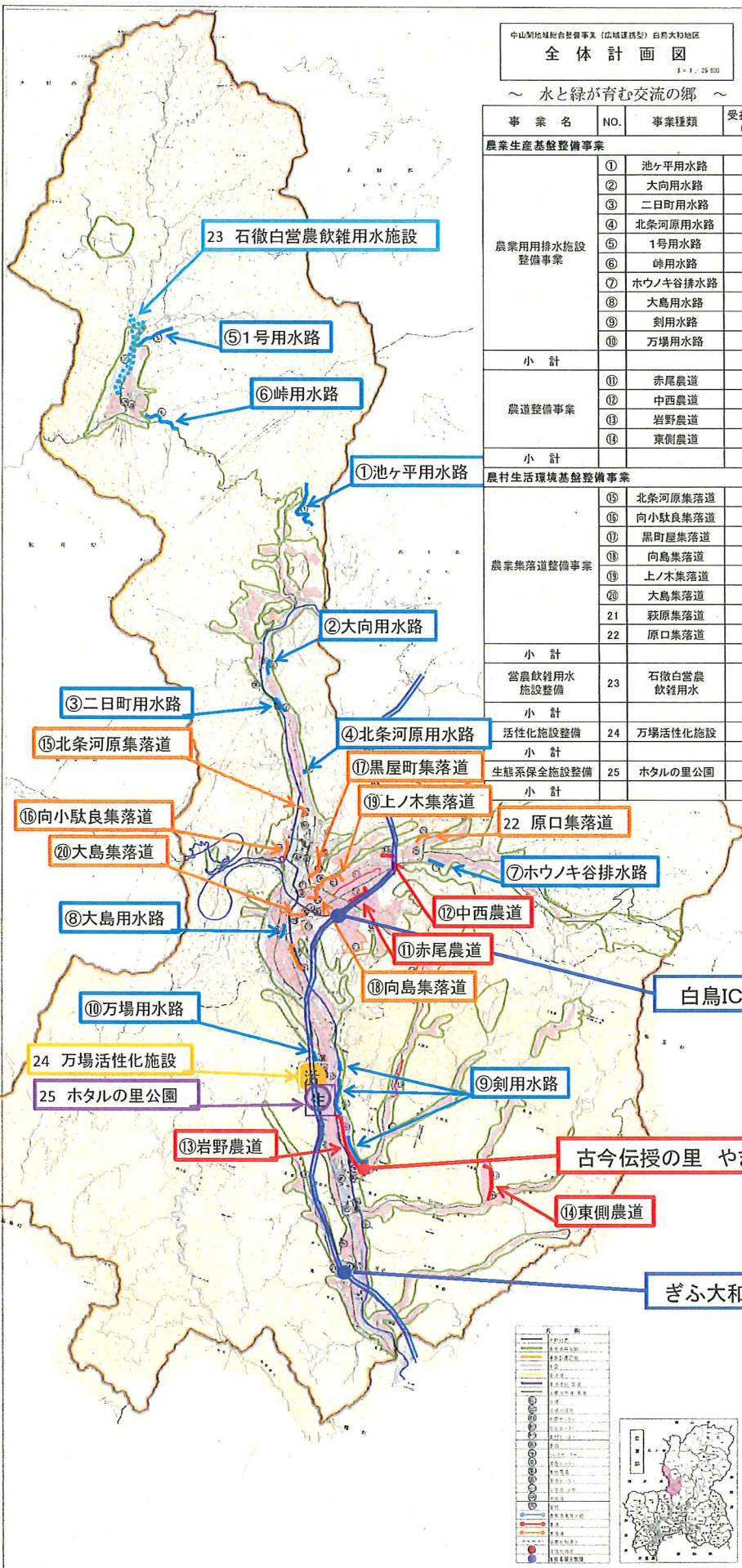
- ・ワークショップ等を活用し、事業制度への理解とともに、住民協同による整備計画の作成への取組み。
- ・集落周辺には排水路整備に伴うフェンス等の転落防止対策など、防災面にも十分な配慮が必要。
- ・経済性に考慮しつつも、消雪を考慮するなど、施設を取巻く諸条件に対応した構造の採用。

全体計画図

5-1 / 25.000

～ 水と緑が育む交流の郷 ～

事業名	NO.	事業種類	受益面積 (ha)	事業量	
農業生産基盤整備事業					
農業用排水施設整備事業	①	池ヶ平用水路	6.7	L=1,017m	
	②	大向用水路	10.2	L= 203m	
	③	二日町用水路	31.3	L= 337m	
	④	北条河原用水路	6.0	L= 150m	
	⑤	1号用水路	27.2	L=1,054m	
	⑥	峠用水路	5.2	L=1,193m	
	⑦	ホウノキ谷排水路	1.0	L= 440m	
	⑧	大島用水路	27.1	L= 379m	
	⑨	剣用水路	290.0	L=2,338m	
	⑩	万場用水路	40.8	L= 270m	
小計			445.5	L=7,381m	
農道整備事業	⑪	赤尾農道	5.4	L= 532m	
	⑫	中西農道	3.8	L= 382m	
	⑬	岩野農道	18.7	L=1,627m	
	⑭	東側農道	7.2	L= 878m	
小計			35.1	L=3,419m	
農村生活環境基盤整備事業					
農業集落道整備事業	⑮	北条河原集落道		L= 360m	
	⑯	向小駄良集落道		L= 415m	
	⑰	黒町集落道		L= 342m	
	⑱	向島集落道		L= 468m	
	⑲	上ノ木集落道		L= 847m	
	⑳	大島集落道		L= 402m	
	21	萩原集落道		L= 764m	
	22	原口集落道		L= 361m	
	小計				L=3,959m
	営農飲雑用水施設整備	23	石徹白営農飲雑用水		160戸
小計				160戸	
活性化施設整備	24	万場活性化施設		A=278㎡	
小計				A=278㎡	
生態系保全施設整備	25	ホテルの里公園		L= 773m	
小計				L=773m	



県営中山間地域総合整備事業 「白鳥大和地区」

事後評価結果

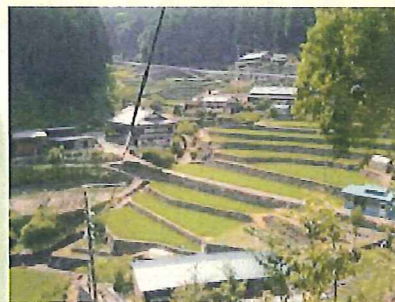
郡上農林事務所
農政部農地整備課

県営中山間地域総合整備事業について

社会的・地形的条件が不利な農村地域において、きめ細かな農業生産基盤整備と農村生活環境整備を総合的・一体的に実施する。

活力ある農村づくり

農業の持つ多面的機能の向上



(メニュー)

○ 農業生産基盤整備 (全8事業)

- ・ 農業用排水施設整備
- ・ 農道整備
- ・ ほ場整備
- ・ その他

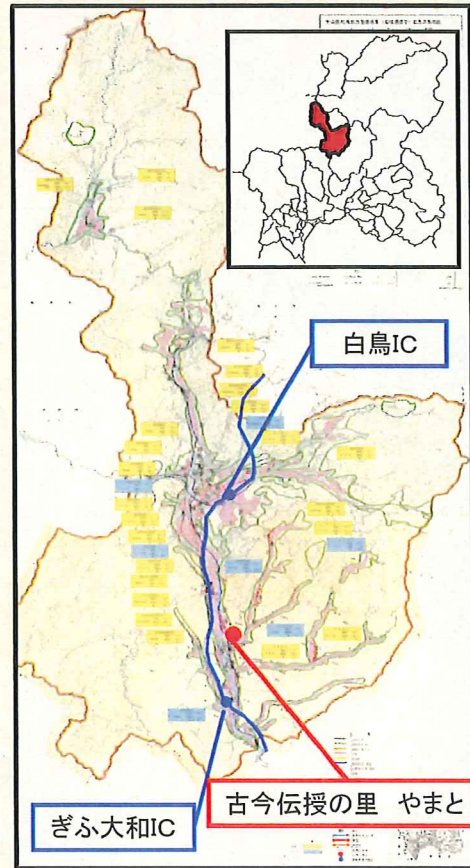
○ 農村生活環境整備 (全12事業)

- ・ 農業集落道整備
- ・ 宮農飲雑用水施設整備
- ・ 活性化施設整備
- ・ その他

事業概要(1)

事業名	県営中山間地域総合整備事業
地区名	白鳥大和地区
市町村名	郡上市(白鳥町・大和町)
事業費	2,601百万円(当初3,780百万円)
工期	H15~H21
受益面積	A= 333ha
工事内容	農業生産基盤整備事業 (1) 農業用排水施設整備 10路線 L= 7,366m (2) 農道整備 4路線 L= 3,418m
	農村生活環境整備事業 (1) 農業集落道整備 8路線 L= 3,914m (2) 営農飲雑飲雑用水施設整備 1団地 160戸 (3) 活性化施設整備 1箇所 A= 290㎡ (4) 生態系保全施設整備 1箇所 L= 773m

郡上市
(旧白鳥町・旧大和町)



事業概要(2)

キャッチフレーズ「水と緑が育む交流の郷」

■ 地域の目標 ■

「地域所得の増大」

農業生産性の向上・強化と
地域農産物の販売拡大

<取組内容>

- ・ 農業用排水路整備、農道整備等による農業生産性の向上

「安全・安心の確保」

安全な飲料水及び防火用水の
確保など農村生活環境の改善

<取組内容>

- ・ 営農飲雑用水施設整備による安全な飲料水の確保
- ・ 農業用水路整備等による防火用水、消雪用水などの生活用水の確保

「交流人口の増大」

自然環境を生かした都市住民
との交流による地域の活性化

<取組内容>

- ・ 生態系保全施設(水路)と活性化施設の整備による地域財産(ホテル)の保全と都市住民との交流の場の構築

事業の効果(効果の分析)

■ 分析結果 (総費用・総便益比)

$$\frac{\text{総便益}}{\text{総事業費}} = 1.48$$

■ 便益内容

○食料の安定供給の確保に関する効果 効果全体の60%

- ・作物生産効果
- ・品質向上効果
- ・営農経費節減効果
- ・維持管理節減効果
- ・営農に係る走行経費節減効果

○農村の振興に関する効果 効果全体の37%

- ・災害防止効果
- ・一般交通等経費節減効果

○その他の効果 効果全体の3%

事業の効果(農業用排水路整備 全10路線)

■ 整備前 : 老朽化による漏水 → 農業用水不足の発生
狭い管理道 → 維持管理に多大な労力

■ 整備後 : 漏水解消による農業用水の安定確保の実現
管理車両の導入による維持管理作業の軽減・効率化

(写真 : 剣用水路)



改修



■ 事例 : 剣用水路 (受益面積 : 292ha)

→ 転作が促進した (飼料作物 (トウモロコシ)、飼料米、ソバなど)

→ 農業以外に、地域用水の確保も図られ、地域防災、生活環境改善が向上した
(防火用水、消雪用水、農業機械洗浄など)

事業の効果(農道整備 全4路線)

- 整備前 : 幅員が狭い → 走行性が悪い、歩行者の安全が確保されていない
- 整備後 : 拡幅改良による走行性の向上の実現
歩道の設置に伴う歩行者の安全性が確保の実現

(写真 : 岩野農道)



幅員 : 3.5m程度



幅員 : 車道 5.0m、歩道 2.5m

- 事例 : 岩野農道 (受益面積 : 18.7ha)
- 幅員の確保により車両走行性が向上した。
車両のすれ違い、大型農業用車両の進入が容易に。
- 歩道の整備により歩行者の安全が確保された。
主な利用者 : 小学生、中学生 (徒歩、自転車) など



事業の効果(農業集落道整備 全8路線)

- 整備前 : 幅員が狭い → 一般車両・農業用車両の走行性が悪い
大型車両の進入に支障が生じている
- 整備後 : 拡幅改良により走行性が向上
緊急車両等の大型車両の進入可となった

(写真 : 萩原農業集落道)



幅員 : 3.5m程度



幅員 : 車道 5.0m

- 事例 : 萩原農業集落道 (受益面積 : 4.5ha)
- 幅員の確保により、車両の走行性が向上した。
一般車両と農業車両が容易にすれ違える。
消防車、除雪車等の進入が容易となり、地域の安全性及び快適性が向上した。

事業の効果(営農飲雑用水施設整備 1箇所(160戸))

- 整備前 : 谷川から直接取水 → 水質基準が満たされない可能性
積雪による取水口閉塞 → 困難な維持管理、水不足

- 整備後 : 浄水施設の整備による、水質基準への適合
取水個所の変更・整備による、安定した水の確保

(写真 : 石徹白営農飲雑用水)



- 事例 : 石徹白営農飲雑用水施設 (受益戸数 : 160戸)
→ 膜ろ過方式の活用により、安全・安心な飲料水が常時利用できるようになった。
(衛生的な水の確保による都市との地域格差の解消)
→ 取水個所を年間を通し安定した溪流に移し、安定的な水利用が確保された。
(年間を通し安定した水量が確保され、除雪等の労務も軽減した)

事業の効果(活性化施設整備 1箇所)

- 整備前 : 地域住民の活動拠点施設が無い → 地域活動が希薄
特に特徴が無い地域 → 都市住民に対し魅力がない

- 整備後 : 子供から高齢者までが一緒に地域活動する機会が増加
「ホタル」の名所となり都市住民との交流の進展



- 事例 : 万場活性化施設 (規模 : 290㎡) (写真 : 万場活性化施設)
・ 活動内容 : 近辺の小学校児童による、ホタル飼育、学習、発表会の開催
これを通じ地域活動の機会が増加し、地域が活性化した。
・ ホタル、カワナナの飼育、放流活動により、一帯がホタルの名所となり、
ここを訪れる都市住民との交流の場となっている。
(道の駅、長良川鉄道が観察会を企画・実施)

事業の効果及び環境面への配慮(生態系保全施設 1箇所)

■整備前 : 荒地のまま放置
コンクリート製品水路のため、ホタルが生息しにくい水路である。

■整備後 : ホタルの生息環境の整備による名所化
都市住民との交流の進展

(写真 : ホタルの里公園)



改修



ホタル観察会風景

住民の参加・協働による効果

■植栽活動(岩野農道) : 児童と住民に対し、事業への理解度を高めることができた。



■生き物調査(生態系保全水路) : 今後の保全活動や事業実施に反映できた。



ほたるの里公園 案内パンフレット

誰もが住んでみたい町に 農業農村整備

寺川ピオトープ (L:600m)
寺川やその他の静かな自然環境を保全するために、より自然に近い形で建設しました。また、生態の多様性を高めるため、様々な工夫を用いて様々な環境を整えました。
凡例：ピオトープエリア

寺川橋
静寂と自然環境、寺川ピオトープを導くために、静かな環境や美しい風景を演出し、自然環境から導くための橋です。

ホテルロード
寺川ピオトープから静かな環境を演出し、自然環境から導くための道路です。

ホテルの小川
静寂と自然環境、寺川ピオトープを導くために、静かな環境や美しい風景を演出し、自然環境から導くための小川です。

カフニナの小川
静寂と自然環境、寺川ピオトープを導くために、静かな環境や美しい風景を演出し、自然環境から導くための小川です。

丸太歩道
静寂と自然環境、寺川ピオトープを導くために、静かな環境や美しい風景を演出し、自然環境から導くための歩道です。

蛍光館
静寂と自然環境、寺川ピオトープを導くために、静かな環境や美しい風景を演出し、自然環境から導くための施設です。

ほたるの里公園

現在地

蛍光館

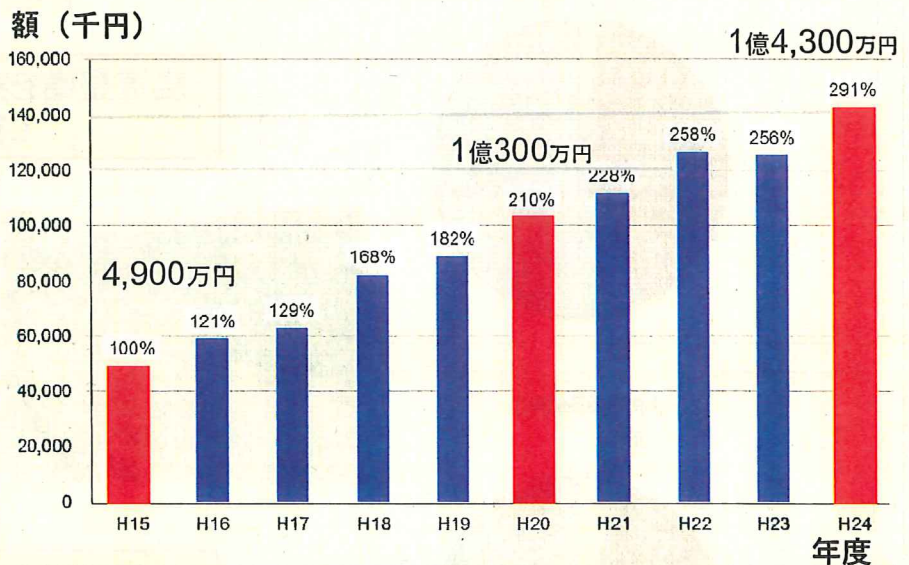
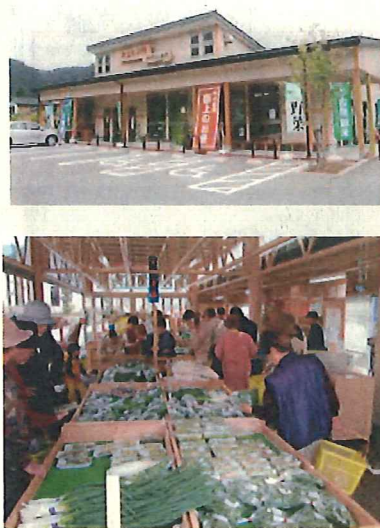
活性化施設(蛍光館)

郡上大和
ほたるの里公園

県営中山間地域農村活性化総合整備事業 白鳥大和地区
岐阜県中濃地域農山村整備事務所・郡上市
平成17年3月

社会情勢の変化

やまとの朝市 年度別販売額の推移



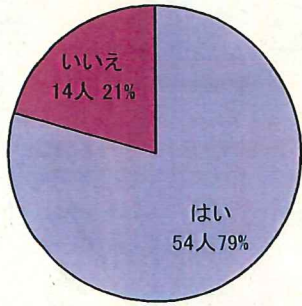
平成23年度 米の販売額 : 26,156,150 円 (380円/kg , 22,800円/俵・玄米)
米販売量 68,832 kg (1,147俵)

会員数:403名(うち お米の会員数 54名): 会員の収入は増加している。

アンケート結果(その1)剣用水路

対象	配布	回収	回収率
農家	190戸	104戸	55%

問3①水不足は解消されたか

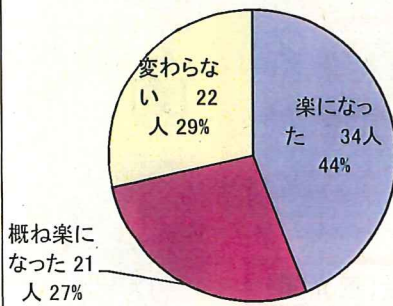


・水不足が解消された
約8割

・「いいえ」約2割
支線用水路が未改修のため



問3③用水路維持管理について

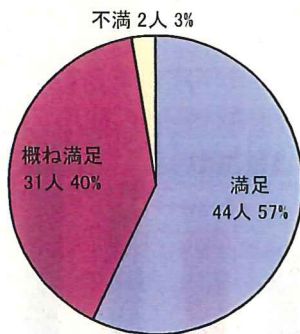


・用水路維持管理が楽になった
約7割

アンケート結果(その2)岩野農道

対象	配布	回収	回収率
農家		44戸	
非農家		53戸	
合計	190戸	97戸	51%

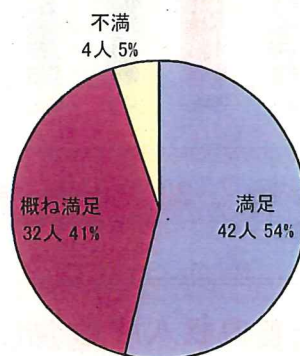
問3⑦農道を整備して



・農道整備を実施して良かった
9割以上

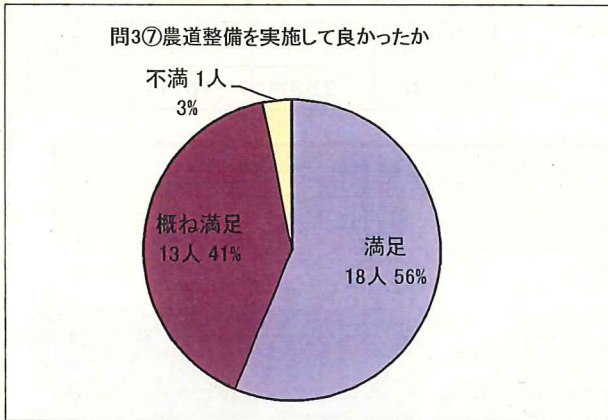


問3⑥農道幅員に



・幅員に概ね満足
約9割

アンケート結果(その3)萩原農業集落道

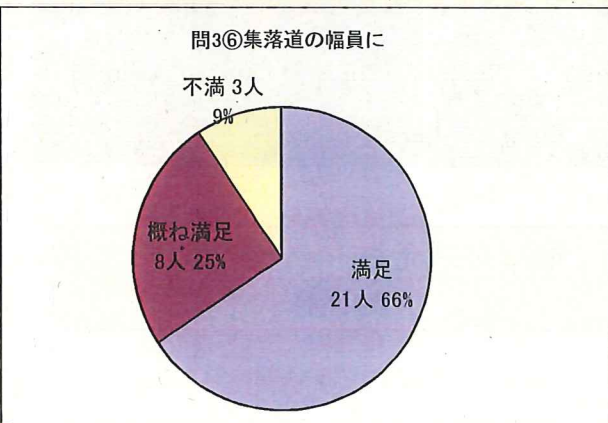


対象	配布	回収	回収率
農家		20戸	
非農家		17戸	
合計	44戸	37戸	84%

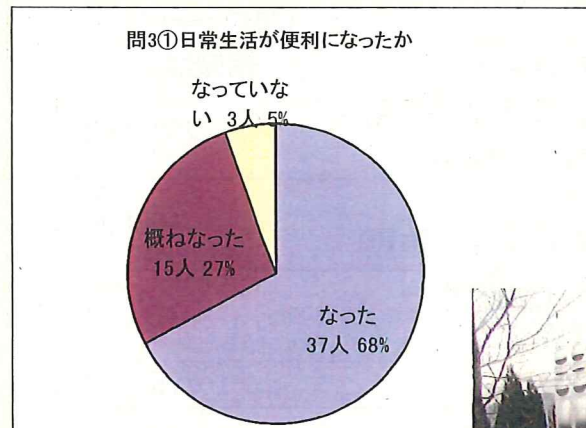
・集落道整備を実施して良かった
9割以上



・幅員に概ね満足
約9割

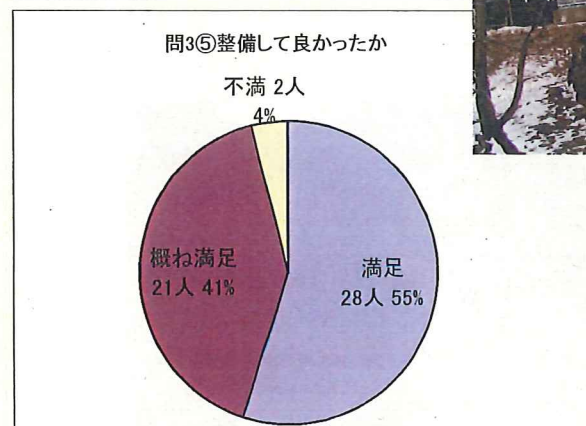


アンケート結果(その4)石徹白宮農飲雑用水



対象	配布	回収	回収率
農家	107戸	49戸	46%

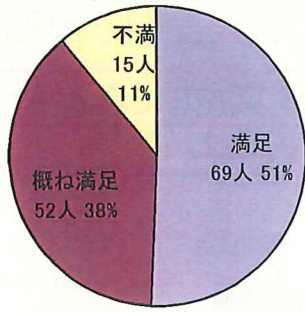
・日常生活が便利になった
9割以上



・整備されたことに満足している
9割以上

アンケート結果(その5)活性化施設、生態系保全施設

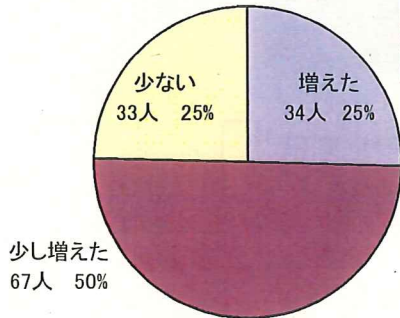
問3⑤整備して良かったか



対象	配布	回収	回収率
農家	253戸	167戸	66%

・活性化施設を整備して概ね満足
9割以上

問3③ホタルは多くなったか



・ホタルが増えた
約7割

コスト縮減の取り組み

コスト縮減

(単位:千円)

縮減項目	具体的な事例	縮減額
工事の計画・設計等の見直し	用水路の整備に補修工法採用 (剣用水他3路線)	252,893
工事構成要素のコスト縮減	現場発製材の再利用 (生態系保全施設)	10,000
工事の整備方針等の見直し	橋梁から暗渠へ工法変更 (中西農道)	12,284
合計		275,177

内面補修工法例

整備前



改修



整備後



対応方針（案）

【今後の事後評価の必要性】

今後の事業評価は必要としない。

- ・ 営農条件や、生活環境の改善効果が認められる。
　　＜農業用排水路や集落道等の整備による＞
- ・ 活性化施設を核とした地域の活性化も図られている。
　　＜地域活動の増大、積極的な都市住民との交流＞

【改善措置の必要性】

改善措置の必要性はない

【新規事業へ適用すべき留意点】

- ・ **事業制度・目的に対する地区住民等の理解度アップ**
　　ワークショップ等による制度の理解と住民意見の反映。
- ・ **安心・安全にも配慮した取組み**
　　用排水路整備に伴うフェンス等の転落防止対策（防災対策）等。
- ・ **地域を取巻く諸条件への対応**
　　消雪を考慮した構造の採用など